広報 ひろしま
市民と市政
11/1
2026 令和8年 NO.1861

主な内容

2～3 若者の悩みや困りごとを一緒に考える／家族をケアするこども・若者を支える／知っておきたい！ 津波への心得 など
4～6 くらしのガイド、施設のイベント
7～8 区版

◀広報紙がスマホで読めます(13言語対応)

原爆ドーム 世界遺産登録30周年



原爆ドームが世界遺産に登録されてから今年で30周年を迎えます。
問世界遺産登録については平和推進課(☎504-2900、FAX504-2986)、記念事業については観光政策部(☎504-2767、FAX504-2253)

この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】
11 住み続けられるまちづくりを

世界の平和記念碑として

原爆ドームは、1996(平成8)年12月に、世界遺産(文化遺産)として登録されました(同時に廿日市市の嚴島神社も登録)。登録名は、「Hiroshima Peace Memorial(Genbaku Dome)」。以来、核兵器廃絶と世界恒久平和の大切さを訴える平和記念碑として、世界へ発信し続けています。

前身は産業発展の拠点施設

原爆ドームの前身である広島県物産陳列館は、今から111年前の1915(大正4)年に誕生しました。戦時下の軍需景気に沸く広島で、その役割は産業発展の拠点施設。レンガ造りの3階建て、5階建ての正面中央部分の上に楕円形ドームを備えた印象的な姿で、広島の名所の一つになりました。



竣工当時、ライトアップされた物産陳列館(上、右写真は公文書館所蔵)

産業奨励館から原爆ドームへ

産業奨励館と改称されていた1945(昭和20)年8月6日、原子爆弾が約160メートル南東の上空600メートルで炸裂。館は大破・全焼しました。しかし、爆風を上方からほぼ垂直に受けたため、壁の厚い建物の中心部は倒壊を免れ、昭和20年代後半には、「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。

世界遺産へ国内外から声

復興が進む中、被爆当時の姿をとどめる原爆ドームは、原爆の被害を伝える象徴として注目を集めていきます。保存を呼び掛ける募金運動には、国内外から目標額を大きく上回る約6800万円が寄せられました。



募金運動に立つ当時の浜井市長

1992(平成4)年、市は、「原爆ドームを世界遺産へ」との考えを表明。世界遺産化への機運が高まり、4年後の12月7日に登録されました。

それから30年。かけがえのない遺産を、私たちはこれからも大切に守りながら、未来へとつないでいきます。

世界遺産登録30周年記念 パネル展などを実施

11月1日(日)～来年1月31日(日)



原爆ドームと嚴島神社の世界遺産登録30周年を記念して、さまざまな事業を実施します。 詳しくは、特設サイトで。

パネル展
原爆ドームと嚴島神社の価値や歴史、保存・継承の取り組みなどを紹介
場原爆ドーム周辺、TOTO宮島おもてなしトイレ2階

デジタルスタンプラリー
原爆ドームや嚴島神社を中心に、周辺の観光施設などを巡る
場原爆ドーム、嚴島神社、周辺の観光施設など

第13回世界遺産サミット
世界遺産に関する講演や国内首長による会議(要申込)
日11月28日(土)
場国際会議場

ワンデー周遊イベント
デジタルスタンプラリー最終日にまち歩きを楽しむ特別イベント
日来年1月31日(日) 【発着場】エディオンピースウイング広島

記念セレモニー
コンサートや原爆ドームの歴史の紹介などを行うセレモニー
日12月6日(日) 場元安川親水テラスほか

光の演出
キャンドルライトなどによる光の演出
日12月6日(日)～来年1月31日(日)の17:00～22:00 場原爆ドーム周辺

市の業務の一般的な問い合わせは、「おしえてコールひろしま」へ
☎**504-0822** 年中無休 8:30～17:15 FAX**504-2121** 平日(8月6日、年末年始は除く)8:30～17:15

●本紙内で市外局番のない電話番号は、全て市外局番(082)です

P1-P6 編集・発行:広島市広報課(〒730-8586 中区国泰寺町一丁目6-34 ☎504-2117、FAX504-2067)